

なるほどマップ

いしかわ 4 石川トンネル

石川トンネルは1994(平成6)年に二年の歳月を経て完成したためがトンネルです。周辺に伊波城跡や伊波貝塚などの遺跡が点在しているため、遺跡保存のため丘を貫くトンネルになっています。



座喜味城跡

いは 5 伊波ヌール墓

伊波ヌール墓は、首里王府時代に信仰的司祭者として王府よりノロに任命された伊波のノロの遺骨を納めた古墳です。石川バイパス建設の際、ルート上にあった墓の保護を目的にトンネル形式に変更されました。現在市重要有形文化財となっています。



6 ウプガー

伊波ウプガーは石川トンネルの南側に位置しており、現在東屋が入り口となった地下通路の中に保存されています。ウプガーの水は住民に子供が生まれてから一生、祭事で使用され、住民の信仰の対象として大切にされてきました。



いは 7 伊波城跡

県道6号線近くにある城跡。この城は14世紀頃に今帰仁城主の遺児がこの地まで逃げ延び、地域の人々に推されて伊波按司となり、築城したといわれています。自然のままの石を組み合わせた野面積の技法で築城されました。実際にここから石川の全景や太平洋、東シナ海、北部の山々が見渡せるほどで、眺めは抜群です。



いはあじ 8 伊波按司の墓

伊波城を築いた伊波按司の墓で、具志川と石川を結ぶバイパスの途中の山城区の標高80mの地にあります。天然の要害を利用して築かれ、野面積みの石垣が今も残っています。岩とガジュマルに囲まれた墓は、その子孫や地域の人たちによって大切にされてきたことがうかがえます。



あかさきこうさ てんえんけいおうだんぼ どうきょう

1 赤崎交差点円形横断歩道橋

石川バイパスと県道73号線が接続する赤崎交差点にある歩道橋です。1996(平成8)年石川バイパス改築事業の際に建設されました。その形は従来の歩道橋とは違い、市街化したつづつある周辺地域のシンボルとして優雅な曲線を取り入れています。



いしかわばし 2 石川橋

石川川にかかる石川橋は石川から金武への道として1931(昭和6)年に完成しました。その後戦争で破壊されましたが、その後再建されました。現在は東側に新石川橋ができました。



いしかわこうかきょう 3 石川高架橋

石川高架橋は交通渋滞を緩和するために計画された石川バイパスの一環として1996(平成8)年に下り線が完成供用し、2004年に上下4車線が供用されました。石川高架橋は597mにも及ぶ長い橋です。

